



地域おこし協力隊員
ひろさわ あきひこ
廣澤 明彦さん
(埼玉県出身)

ずっと興味があった伝統工芸に携われるチャンスだと思い応募しました。まずは技術をしっかりと身に付け、いずれは世界に発信できるような鳴子漆器の職人になりたいです。任期は3年とあっという間ですが、これからたくさんお世話になる大崎市の皆さんに、いつしか恩返しができるよう、長い目で、しっかり取り組んでいきたいと思っています。



地域おこし協力隊員
さとう しょうた
佐藤 匠太さん
(仙台市出身)

伝統工芸や民芸品などの収集を趣味で行っていきうちに、いつか、その道に携わりたいという思いを強くしてきました。また、伝統や技術が失われつつあることも知っていたので、今回の募集が、自分自身、最後のチャンスと応募しました。鳴子漆器の技術や知識の習得はもちろん、地域の皆さんと一緒にまちづくりにも力を注ぎたいと思います。

「伝統工芸の振興を目指して 地域おこし協力隊 が始動しました」

市では、後継者不足が進む伝統工芸の技術を身につけ、これからの伝統工芸振興において活躍してもらう人材を「地域おこし協力隊」として全国から募集しました。5人の応募者が面接に進み、選考の結果、廣澤明彦さん(35歳・埼玉県出身)と佐藤匠太さん(34歳・仙台市出身)を採用することに決め、9月14日、地域おこし協力隊の辞令交付式を行いました。

二人は、鳴子温泉地域内に住みながら、鳴子漆器職人の佐藤建夫さん(たけお)の下で、製作技術や流通・販売などについて学び、いずれは独立を目指します。また、情報発信や他のものづくりとの連携や協働の可能性を探るほか、市内で行われる地域行事にも参加します。

任期は年度ごとに更新し、最長で、平成31年3月31日までとなります。任期中の毎年3月には、活動報告会も行われる予定です。

大崎市第1号の地域おこし協力隊として、新たな一歩を踏み出した廣澤さんと佐藤さんに、今後の抱負を聞きました。

■ 9月 1 日現在の大崎市の人口 (単位: 人・世帯)

地域	男	前月比	女	前月比	計	前月比	世帯数
古川	38,033	+50	39,655	+32	77,688	+82	30,538
松山	3,044	-13	3,219	-9	6,263	-22	2,195
三本木	4,013	-2	4,063	-5	8,076	-7	2,680
鹿島台	5,874	+10	6,273	-2	12,147	+8	4,508
岩出山	5,530	-8	5,814	-16	11,344	-24	4,242
鳴子温泉	3,058	-7	3,429	-2	6,487	-9	2,808
田尻	5,602	-8	5,770	-9	11,372	-17	3,595
市全体	65,154	+22	68,223	-11	133,377	+11	50,566

☎ 市政情報課統計担当 ☎ 23-5091

■ 今月の納税

納期限: 10月31日(月)

□ 軽自動車税	—
□ 固定資産税・都市計画税	—
■ 市県民税	第3期
■ 国民健康保険税	第6期
■ 介護保険料	第6期
■ 後期高齢者医療保険料	第4期
□ 個人事業税	—

☎ 納税課収納担当 ☎ 23-5148

■ 火災発生件数

(8月末日現在・右欄は前年比)

建物火災	26 件	+ 9
林野火災	1 件	+ 1
車両火災	4 件	0
その他火災	14 件	+ 2
合計	45 件	+ 12

■ 空間放射線量の測定結果

(単位: マイクロシーベルト /h)

9月12日測定	地表面から1m	地表面から0.5m
市役所第2駐車場	0.05	0.05
松山総合支所	0.05	0.05
三本木総合支所	0.06	0.07
鹿島台総合支所	0.05	0.05
岩出山総合支所	0.05	0.05
鳴子総合支所	0.05	0.05
田尻総合支所	0.05	0.06

■ 交通死亡事故件数

(9月15日現在・右欄は前年比)

発生件数	1 件	- 1
死亡者数	1 人	- 1

☎ 防災安全課 消防担当・交通安全担当・放射能対策室 ☎ 23-5144

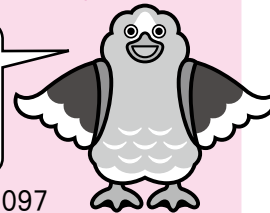
■ 10月号の主な内容

- ③ 伝統工芸の振興を目指して
地域おこし協力隊が始動しました
市長コラム 天地人
- ④ 大崎耕土の農業を世界農業遺産に認定申請
- ⑥ 芸術の秋華やぐ 市民文化祭開催
- ⑦ 市職員の人数・給与などの状況
- ⑧ 十年物語 ～おおさき人の軌跡～
大崎市スポーツ推進委員協議会会長 千坂善悦さん
大崎市文化協会会長 手代木亮一さん
- ⑨ つながる・むすぶ・つむぐ 姉妹都市のきずな
- ⑩ 市政トピックス 9月の主な出来事
- ⑪ 地域発! お・ら・ほ・の・ま・ち
- ⑫ オオサキプレイガイド
- ⑬ 第2次大崎市総合計画等市民説明懇談会を実施します ほか
- ⑳ 今月のお知らせ
- ㉑ 子育て支援情報
- ㉒ 育児相談・乳幼児健診
- ㉓ 休日当番医 ほか

パタ崎さんの 観光ひとくちメモ

その4
大崎市に力強い仲間! 地域おこし協力隊

☎ 観光交流課 ☎ 23-7097



みんなは「地域おこし協力隊」って知ってるかな? 高齢化や人口が減って、いろいろな課題を抱える自治体が、地域づくりに意欲のある人に移住してもらい、課題解決を手伝ってもらう制度なんだ。

9月14日から、大崎市にも2人の地域おこし協力隊員が来てくれたんだよ。

国指定の伝統的工芸品「鳴子漆器」の伝統技術を絶やさないために、鳴子温泉地域に住んでもらいながら、技

術を身につけることが2人の隊員の主な仕事なんだ。そのほかにも、大崎市の新たな魅力を見つけたら、全国にPRする役割もあるんだって。

はじめのうちは、鳴子温泉地域を中心に活動してもらうんだけど、そのうち、みんなの地域のイベントや活動にも参加するので、その時はあたたかく迎えてあげてね。

2人の隊員の紹介は、次のページを見てみてネ。

今月の表紙

岩出山の秋を彩る「第53回政宗公まつり」が、9月10日・11日の2日間にわたり開催されました。昨年は、9月11日に市内を襲った豪雨災害により、史上初めての中止となってしまいましたが、今年はその分を取り戻すかのように新たな企画も取り入れ、両日あわせ6万5千もの人で、大変な賑わいとなりました。

10日の宵まつりでは、特別企画「第1回甲冑コスプレ世界大会」が新たに開催されました。参加者自身が手づくりし、細部までこだわった自慢の甲冑を披露し、本物と見紛うほどの出来栄に、会場から大きな拍手が送られました。

翌11日の本まつりでは、「伊達武者行列」が行われました。行列がスタートすると、それまで降り続いていた雨がピタリと止み、天の味方も得て、勇壮できらびやかな戦国絵巻が見事によみがえりました。



第1回甲冑コスプレ世界大会
優勝・水木歌亮さん
甲冑名「かぶき者」

市長コラム

天地人

大崎地域の農業を世界遺産へ!!

近年、世界遺産の話題を耳にすることが多くありますが、農業分野には「世界農業遺産」があります。国連食糧農業機関(FAO)が2002年に開始したプログラムです。

ユネスコの世界遺産は、有形の文化遺産と自然遺産の保護・保存を目的にしていますが、FAOの世界農業遺産は、無形の農業システムの保全を目的としています。

世界では15カ国36地域、日本では8地域が認定されています。

9月26日、日本の窓口である農林水産省に大崎地域の世界農業遺産認定申請を提出してきました。

申請タイトルは「大崎耕土の巧みな水管理による水田農業システム」です。

大崎地域は、母なる江合川、鳴瀬川に抱かれた水田農業地帯ですが、かつては、冷害や水害が頻発し、「三年一作」と語り継がれる冷害常習地帯でもありました。

「大崎ブランド」に自信と誇りを持って、世界に発信していく新たなスタートにしていきたいです。



大崎市長 伊藤 孝志